

入居者インタビュー

「やっぱり、味が出てくるような人生がいいな。」

…平山博巳様 (75 歳)

～独り生活より、コミュニティで楽しく暮らす～



＜教会での仕事(奉仕)は 10 年以上に＞

私は妻の薦めで 40 歳の時に洗礼を受け、クリスチャンに。仕事を辞めてからは教会で仕事(奉仕)をしています。主には、月報・週報を作る、行事の準備やセッティングの確認などですが、何でもやります。手伝いを始めてから 10 年以上になるから、教会奉仕活動ではベテランの域になったかな？お蔭様で、パソコンも始めた頃に比べたら、随分と上手くなりました。子供たちとの触れ合いも楽しい。教会に集まる人に楽しくやってもらうための準備は色々と大変な面もあるけれど、楽しくやれることは幸せだと思っています。



↑ バーベキュー写真
(一番左)



↑ ハンドベル発表写真
(一番右)

＜早く安心したかった＞

私がホーム入居を考えたのは 50 歳前後。夫婦二人きりなのでいずれは…とホームに関する情報収集を始めました。ゆうゆうの里の情報も、友の会に入会し得ていました。妻が急に倒れ、2~3 年の間、私が家事全般をやり、妻の介護もしてきました。妻に先立たれ、独りになった時にも、家事や食事の支度など、生活に困ることはなかったのです、が…。

夜、家に独りでいると、持病（以前にドクターヘリで緊急入院・手術した）もあったせいか、急に不安が強くなることがあった。夜が怖い…。早く安心を得ようと思い、妻と決めていた佐倉〈ゆうゆうの里〉に入居した次第です。入居して 3 年が経ちますが、何かあったらすぐに職員が来てくれる安心を、すでに実体験しております。その都度、職員や診療所の医師にお世話になって、また元気を取り戻し、こうやって自由に、自分のままな生活が送れます（感謝）。自宅に独りだったら…、怖いから想像したくないですね。

＜独りじゃない、コミュニティの中での生活＞



里では、朝・昼食は自炊し、夕食のみレストランで他入居者と食べることにしています。このコミュニティでは、私は独りじゃない。暮会所に出かけなくても、ゆうゆうの里の中に対戦仲間もいる。卓球、朝の体操、アスレチックジム等、自分のために身体を動かす場が用意されているから、ありがたく活用させてもらっている。縁あって同じコミュニティで生活している者同士、自分から挨拶したり、クラブや行事に顔を出す、そこに仲間ができるからより楽しめるんじゃないかな。

私は、年齢を重ねて「味が出る人」と「劣化する人」がいると思っているが、絶対に前者でいたい!! だから今を楽しく過ごす努力もしますし、これからも楽しむことを続けたいと思っています。



↑ 朝の体操後に運動トレーナーたちとパシャッ!

囲碁、卓球、運動、散歩…に加えて教会のお仕事。バイタリティ溢れた生活…と感心いたしました。

“いつも笑顔”の秘訣は、自ら楽しむことにある!? 取材側まで顔が緩んでくるから不思議です。